

ひこばえ

第 68 号

発行日 令和 3 年 8 月 15 日

発 行 公益社団法人遠野市シルバー人材センター

広 報 編 集 委 員 会

遠野市青笹町糠前 9-7-6

電話 0198-62-0577

令和 3 年度定時総会

令和 3 年 5 月 27 日 木曜日 午前 10 時
遠野市ふれあいプラザ大会議室

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の皆様には、会場への出席をご遠慮いただくというご協力のもと、委任状または議決権行使書を提出いただき、役員と地域班長のみの出席で定時総会を開催いたしました。

— 令和 2 年度事業報告 —

新型コロナウイルス感染症に翻弄された 1 年でしたが、受託事業の契約金額では前年度と比較し 6 % 程度の減となりました。第 2 次会員 100 万人達成計画の目標に近づけようと「一人 1 会員勧誘運動」で会員の皆様にご協力願いま



○ 令和 2 年度事業実績

事業目標等	目標値	実績値	達成率
会員数	275 人	203 人	73.8%
受注件数	1,320 件	1,090 件	82.6%
就業延人数	11,360 人日	8,595 人日	75.7%
配分金総額	37,000 千円	30,281 千円	81.8%

— 令和 3 年度事業計画 —

新型コロナウイルス感染症対策の 3 密「密閉・密集・密接」回避や身体的距離感の保持を心掛け、蔓延防止に努めながら、安全・適正就業や



会員並びに関係者の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策をしながらの生活が日常化している中ですが、ご健勝にお過ごしのことと思います。

この度、当センターの役員改選で、佐々木理事長の退任に伴い、後任の理事長に就任いたしました。

少子高齢化が進むなか、シルバー人材センター事業は活力ある高齢化社会を支える重要な役割を担つております。

皆様のご指導ご支援を賜りながら努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

シルバー人材センターの基本理念「自主、自立、共働、共助」のもとに、会員の皆様の豊かな経験と能力を生かして就業し、安全で健康な生活を送りいただきながら、地域社会に貢献していく、このことに留意して事業を進めていきます。

佐々木前理事長の情熱ある運営にご尽力なされたご労苦に感謝し、関係者のご理解のもと、会員の皆様方とチームワークを大切にして進めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

就任挨拶

理事長 菊池 長悦

新役員紹介



新役員の皆さんです。どうぞよろしくお願ひいたします。

◎理事長	理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理
副理事長	事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事
監理	菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊
監理	佐々木 蔭池 池田 池池 池池 池池 池池 池池
監理	高杉 高山 橋木 橋木 橋木 橋木 橋木 橋木 橋木 橋木
監理	及川 善一 定健 太郎 游正 一司 一彌 攻敏 子悦
(敬称略)	高海 老子 川秀
(行政理事)	臺直一
(◎新任)	木寿志

(取材 海老子川秀一)



皆で一緒に考えたり、テキストに書き込んだり、脳はフル回転です

更に一月二十七日には、同内容で一般会員を対象とし、八名が参加しました。是非、今後の就業に役立てたいのです。

「私でなければならないと認められ、任せられた仕事」「子供たちに自分の仕事ぶりを通して生き様をみせる仕事をする」「誰かの役に立つて実感を得て仕事をする」それが一番のマナーだと講師先生はおっしゃつておされました。参加された皆さんの中にも、「マナー」の大切さが残ったのではないかと思います。

「マナーは必要か」という問いに、参加した全会員二十六名が意見を発表するなど、全ての設問に対し、皆で考える全員参加型で、とても活気のある講習会でした。



去る一月八日、派遣就業会員を対象に、遠野職業訓練校の川原恵美氏を講師に迎え、接遇講習会が開催されました。人生八十年の現在は、シルバーの仕事は年に一回で、自宅の農作業と趣味の植木の手入れをしています。

六十五才でシルバーに入会し、十五年が過ぎました。最初の仕事は、駅前の駐車場管理と草刈り作業が主でした。

会員の声

十六班 佐々木 征雄

二年前から、遠野市健康ポイント事業に入会し、ウォーキングラリーでは、目標達成時の喜びを楽しみに毎日、一万歩以上継続して歩いています。継続の秘訣は何も無いですが、運動は生活習慣病などを予防し、認知症になるリスクを低下させると言われているので、怪我なく、無理のない心地よさを感じながら、ウォーキングとスクワットを毎日やっています。

毎日、夜には自分の畑で作った野菜を、妻に料理してもらい、一番の楽しみである晩酌をしています。最近は、誰しも予想のつかぬ出来事が発生し、皆様も「ビク・ビク」しました。毎日を過ごしていると思いますが、体調管理をして頑張るしかないと思います。

今年は十六班の班長を班会議で任命されました。事務局から配布される書類や、伝達事項等において、その都度多忙のところ大事な書類の配布をお願いしている、連絡員の皆さんには心から感謝しております。

この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。最後に「会員の皆さん！コロナに勝ちましょう。」



女子会開催

女性会員・会員の奥様限定で、6月1日、9名がマイカップを持参し、紅茶を飲みながら和気あいあいと世間話に盛り上がり



ました。第2回は、7月7日、参加者に一般の女性も加え14名が参加し、健康と美容について宮古ヤクルト釜石営業所の菊池智陽さんと佐々木芳江さんに講話いただき、参加者全員真剣な顔で聞いていました。特にお口の健康は全ての健康に繋がるということから、お口のケアをしっかりと



りし、おいしく食べ、元気にシルバーの仕事を頑張りましょう。

第3回も予定しております。
女子の皆さん、お楽しみに。

(取材 佐々木ヒロ子)

高齢者の交通事故防止について

—7月は安全・適正就業強化月間です—

7月13日（火）午前10時から、ふれあいプラザで会員を対象に「交通安全教室」が開かれました。開催に先立って、菊池理事長及び安全衛生管理委員会の高橋副委員長から教室開催の趣旨や就業にあたって交通事故に遭わないようとの挨拶がなされました。その後、事務局長から遠野警察署久保慶浩交通課長を講師に招いたことが紹介され、講話に入りました。「交通事故や交通違反をしない運転」と題して話され、特に県内での死亡事故件数は、12人のうち半数の6人が高齢者であることが指摘され、改めて高齢者が浮き彫りになった感を受けたところです。

また、市内での事故発生地の主な場所は、市中心地、283号バイパス、宮守IC付近、風の丘～綾織地区があげられました。次にシミュレーターを用いた適性検査の結果のもとに、安全運転を徹底すべき事故防止のポイントとして、運転に集中や安全確認等が上げられました。そして重大事故防止のうえで、特に重要なことは、運転走行中の携帯電話使用厳禁や飲酒運転の根絶に努め、社会全体で飲酒運転を許さない環境づくりをすることが必要であるとのべられました。

横断歩道で歩行者優先の徹底を図ること、違反も事故もない安全な交通社会をつくろうと締めくくりの言葉をのべられ、交通安全教室は終了しました。参加された15名の会員は納得された様子で散会しました。

(取材 菊池民彌)

普通救命講習会



7月25日会員9名が遠野市消防本部、藤田匠副士長を講師に招き、普通救命講習の講義・実技の指導を受けました。

応急手当講習テキストが配布されテキストに基づき説明がなされました。

実技は昨年同様、感染症対策で人工呼吸をしない心肺蘇生(胸骨圧迫)・AED装着の実技指導を2班に分けて1人2回ずつ実施しました。胸骨圧迫は1分間に100～200回を目安にしているそうですが、50回迄の実技体験でした。年配者には結構大変だと感じ、周囲に協力者がいるかいないかで大きな違いがある事、救命という行為に何時遭遇するかもしれないの常日頃、心の準備も必要と痛感しました。

AEDを設置している所も多くなり、利用時に確認する習慣を身につけたいと思います。救急といふと何となく敷居が高い気がしますが、身近のちょっとしたケガでも応用できる講習等もありましたので、多くの会員の皆さんに受講されたらと思います。

終了後に受講者全員に普通救命講習修了証が授与されました。

(取材 中島保二)



ドライブ中の映像で、
危険を感じた時にボ
タンを押します

◆会員募集◆

皆さんのご近所に「この人なら会員にふさわしい」と思われる方はおりませんか？毎月10日・25日（土・日・祝日は翌日）の午後1時30分から入会希望者のための説明会を行っております。（入会するためには必ず説明会を受講して頂きます。）お知り合いに体験談をお話しいただき「まず、行ってみて」の一言で勧誘をお願いいたします。



今後の予定

- | | |
|----------|-------------|
| 8月18、19日 | 携帯電話講習 |
| 8月26日 | 入会後6ヶ月経過者講習 |
| 10月9、10日 | 遠野市産業まつり |
| 10月 | ボランティア活動 |
- ※状況により変更になる場合があります。

もっと働きたい、違う仕事にも挑戦してみたいという方、シルバー人材センターでは、求人票を掲示しております。現在募集中の仕事は何かご覧ください。その他ご希望・ご要望があれば、お気軽に事務局へご相談ください。

新入会員の紹介

令和三年四月一日～七月三十一日までに入会された方々です。よろしくお願いします（敬称略）

菊 千 菊 高 村 佐 吉 佐 阿 林 常 菅 馬 佐 々 木	池 葉 池 橋 上 藤 田 藤 部 崎 川 原 場 サ ツ エ	一 智 久 光 弘 之 友 光 和 芳 好 善	彦 子 夫 明 文 雄 子 男 子 夫
十三班（松崎町）	六班（遠野町）	七班（綾織町）	五班（松崎町）
二十一班	六班	六班	十四班（土淵町）
二十九班（宮守町）	（遠野町）	（綾織町）	（松崎町）
十六班（上郷町）	（小友町）	（小友町）	（小友町）
（小友町）	（鶯崎町）	（鶯崎町）	（鶯崎町）
（鶯崎町）	（松崎町）	（松崎町）	（松崎町）
（松崎町）	（松崎町）	（松崎町）	（松崎町）

広報編集委員会

委員長	菊池民彌
副委員長	杉山健太郎
委員	佐々木ヒロ子
中島保二	海老子川秀一

編集後記

今年の夏は、かつてない程気温が高い日が続き、体調がくずれる思いがする。先日、庭木の手入れをしていて、暑すぎて汗はでるし、のどが渴くので水の一杯も飲もうと思いつ家に入った。先ず洗面所で汗を流そうと蛇口から水を手に受け、顔にあたると何と顔には眼鏡があつたのだ。我々がらあきれた事とおもつた。いよいよ我輩も認知がはいつたのかと感じた次第だ。会員の仲間にも、我輩のように認知気味の人にはいないかと想像した。長寿社会が進み、認知症になる人も多くなる世の中だ。自動車運転免許の更新の際、七十五才以上の方は、認知機能検査と高齢者講習を受け、記憶力や判断力の確認がされる。自分の顔に眼鏡をつけて洗顔する行為から見て他人を疑うものではないが、会員の皆に健康で就業してもらうために認知検査を実施することはどんなものかと考えたものだ。

会員の皆様には余計なことと叱られることが多かった。会員の皆様には余計なことと叱られることが多かった。

広報編集委員長

菊池民彌